



第47回防衛問題セミナー



北海道防衛局は、令和6年3月19日（火）共済ホール（札幌市）において、我が国・北海道を取り巻く安全保障に関すること及び北海道における自然災害に関することの2本立ての構成により、第47回防衛問題セミナーを開催いたしました。

第1部講演 山崎 幸二 防衛省顧問 『我が国の防衛力の抜本的強化について』



第1部では、『我が国の防衛力の抜本的強化について』と題し、戦後、最も厳しく複雑な安全保障環境の中で、我が国の安全保障政策・防衛政策を実践面から大きく転換する、いわゆる安全保障関連3文書について講演しました。

（宮崎局長 代読）

第2部講演 山田 正 中央大学名誉教授 『北海道における洪水災害とその軽減に向けた学術的取り組み』



第2部では、山田講師から『北海道における洪水災害とその軽減に向けた学術的取り組み』と題し、平成28年8月北海道激甚災害の概要や北海道地方における気候変動への取り組みのほか、ニューヨークの新しい都市計画等の海外における取り組み事例について御講演頂きました。

今回のセミナーでは、道民の方々約300名が来場され、その中には道内の市町村長や道議会議員など約30名も含まれており、大変盛況のうちに開催いたしました。参加者の皆様からは、安全保障だけでなく自然災害についても学ぶことができた、などのご意見がありました。

《参加者ご意見の例》

- 「日本を取り巻く安全保障の問題と新しい組織、装備を知ることができた」
- 「防衛、災害ともに“自らのことは自ら守る”必要があることを認識できた」
- 「新たな国家安全保障を改めて学ぶことができた」

参加された市町村長からは、とても有意義な講演であり、防災面など自分達のまちにも役立てたい、などのご意見がありました。

当局では、防衛政策や防衛省・自衛隊の活動等について、皆様にご理解・ご協力いただけますよう、今後も防衛問題セミナーを開催してまいります。

